

## 再評価結果（令和3年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・技術課  
担当課長名：前佛 和秀

事業名：一般国道159号 <small>かなざわとうぶかんじょう</small> 金沢東部環状道路	事業区分：一般国道	事業主体：国土交通省 北陸地方整備局		
起終点：自：石川 <small>かなざわ</small> 県 <small>いままち</small> 金沢市今町 至：石川 <small>かなざわ</small> 県 <small>すずみだい</small> 金沢市鈴見台	延長：9.4km			
<b>事業概要</b> 一般国道159号金沢東部環状道路は、地域高規格道路「金沢外環状道路」の一部を構成し、金沢市中心部の交通渋滞緩和、広域的な幹線道路ネットワークの形成、中心部における通過交通の排除などを目的とした延長9.4kmの道路事業である。				
S62年度事業化		S60年度都市計画決定	S63年度用地着手	H3年度工事着手
全体事業費	約1,270億円	事業進捗率 (令和2年3月末時点)	92%	供用済延長：3.9km(暫定2車線) 5.5km(完成4車線)
計画交通量	22,700～49,000台/日			
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 3.2  (残事業) 12.0	総費用：(残事業)/(事業全体) 112/2,329億円 (事業費：84/2,219億円) 維持管理費：27/110億円	総便益：(残事業)/(事業全体) 1,346/7,352億円 (走行時間短縮便益：1,304/6,524億円) (走行経費減少便益：37/657億円) (交通事故減少便益：4.9/171億円)	基準年： 令和2年
<b>感度分析の結果</b> (事業全体)交通量：B/C=2.8～3.3(交通量±10%) (残事業)交通量：B/C=9.5～14.8(交通量±10%) 事業費：B/C=3.1～3.2(事業費±10%) 事業費：B/C=11.2～13.0(事業費±10%) 事業期間：B/C=3.1～3.2(事業期間±20%) 事業期間：B/C=11.8～12.4(事業期間±20%)				
<b>事業の効果等</b> ①日常生活圏の連携強化 ・金沢市中心部へのアクセス性が向上し、通勤面においても地域間の連携強化が期待できる。 ②主要観光地へのアクセス向上 ・金沢市内の観光施設や中心部へのアクセス性が向上する。 ③第三次医療施設へのアクセス向上 ・津幡町・かほく市方面から金沢大学附属病院や石川県立中央病院への搬送時間が短縮し、搬送先の選択肢が増え、救急救助活動の支援が期待できる。 ④防災機能の向上 ・金沢東部環状道路は、浸水被害を受けない高さに位置し、緊急時のネットワークの強化が期待できる。 ⑤地域産業への支援 ・工業団地と国内外の航路拠点である金沢港との時間短縮や走行環境の向上が図られ、地域産業の活性化が期待できる。 ⑥地域連携プロジェクト(石川県新長期構想)の支援 ・石川県の長期計画である「ダブルラダー輝きの美知」構想の実現に寄与。				

関係する地方公共団体等の意見

地域から頂いた主な意見：

東部環状道路建設促進協議会から、早期全線4車線化に向けた要望をいただいている。

知事の意見：

国道159号金沢東部環状道路は、金沢外環状道路山側幹線の一部を構成する極めて重要な幹線道路であり、平成18年の山側幹線全線開通により、中心市街地の渋滞が大幅に緩和されるとともに、沿道には商業施設の集積が進むなど大きな効果が現れている。

また、平成24年の鈴見台～東長江間及び平成29年の東長江～神谷内町間の4車線供用により、当該区間の渋滞が大きく改善されたところである。

一方で、残る2車線区間については、未だ慢性的な交通混雑や交通事故が発生していることから、金沢都市圏全体の交通の円滑化を図るとともに、北陸新幹線金沢開業効果を持続・発展させていくためにも、早期の4車線化が必要である。

このため、金沢東部環状道路については、引き続き事業を継続するとともに、コスト縮減に努めつつ着実に整備を進め、令和5年春の北陸新幹線敦賀開業を見据えた神谷内町～月浦町間の4車線供用と、残る2車線区間の早期4車線化を図っていただきたい。

事業評価監視委員会の意見

審議の結果、再評価および対応方針（原案）のとおり事業継続することが妥当。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

前回事業再評価時以降、需要の見込みや地元情勢など社会情勢に大きな変化は無い。

事業の進捗状況、残事業の内容等

- ・事業の進捗状況：事業進捗率92%、用地進捗率100%（令和2年3月末時点）
- ・残事業の内容：トンネル工事、改良工事、橋梁工事等

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

- ・用地は取得済みであり、現在までに事業は約92%が完了。平成18年度に全線暫定2車線で開通後、平成24年度には金沢市東長江町～同市鈴見台間を、平成29年度に神谷内町～東長江町間で4車線化で供用済みである。
- ・今後は早期の全線4車線化に向けて、月浦町～神谷内町間のトンネル工事及び改良工事を推進し、梅田町～月浦町間についても引き続き事業を推進する。

施設の構造や工法の変更等

- ・新技術の積極的な活用により、コスト縮減を図る。

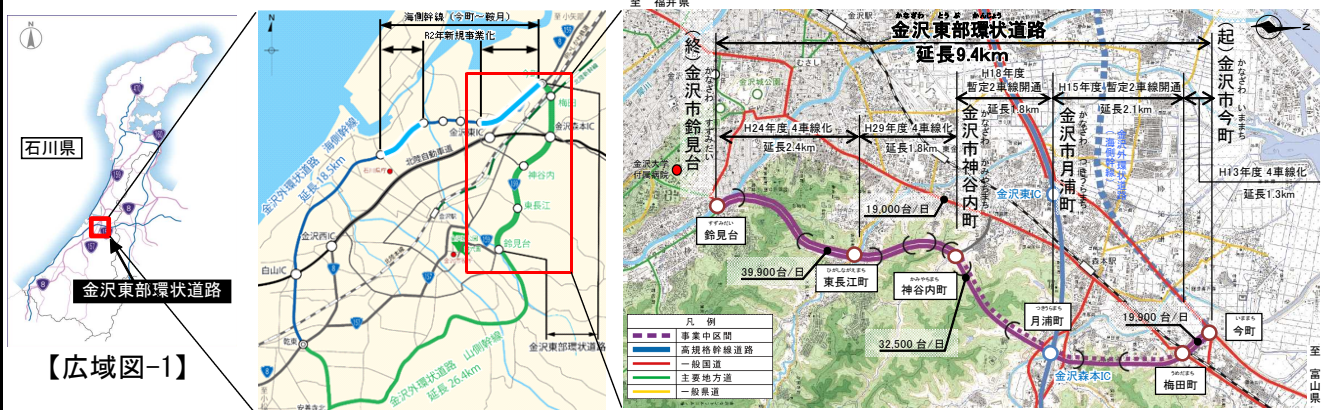
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

当該事業は、現時点においても、その必要性、重要性は変わっておらず、事業進捗の見込みなどからも、引き続き事業を継続することが妥当であると考えます。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。  
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。